

令和5年度 さいたま市立針ヶ谷小学校 第2回学校運営協議会議事録

場所	針ヶ谷小学校 図書室
日時	令和5年9月30日(土) 午後3時00分～4時00分
出席者	針ヶ谷小学校 校長、教頭、教務主任、学校地域連携コーディネーター 学校運営協議会委員 5名出席 合計 9名出席
議事録	
1 開会の言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。第2回学校運営協議会を始めます。
2 委員長あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・午前中は運動会にお招きにいただき、子どもたちの活躍する姿が見られた。4年ぶりの運動会が無事に終了して何よりである。コロナにより学校運営の舵取りが難しいこともあった。今後もできるだけ地域としても学校に協力していきたい。
3 令和5年度学校運営の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の協議会の際に自治会のボランティアのノート記録について、割愛できればと意見をいただいた。PTAとの重複もある。そのため、地域もPTAも「ながら見守りボランティア」として登録をして、児童の下校に合わせて見守りを行う形でノート記録や集合の手間や時間を省き、効率的にできる方ができる時をお願いをしたい。 ・防犯の取組は持続可能な取組である必要がある。そのために無理のない取組をお願いしたい。 ・PTAでは、学年ごとの当番制による見守りを行っているが、後日、PTA本部会の際に学校側とも協議をさせていただき、今後の方針を検討したい。 ・近日で不審者による盗撮事案が数件報告されており、学校でも児童に犯罪に巻き込まれないように指導をしていく。地域の方、PTAの方には日頃よりパトロールにご協力いただき有難い。 ・各自治会の防犯ボランティア証が保険適用の証明にもなっている。 ・各自治会には、前回の会の後にパトロール後のノート記録は不要と連絡させていただいた。 ・学校評価システムシートに沿って説明させていただく。1つ目の学力向上については、日々各教員が授業を行いながら、授業改革に向けて取り組んでいる。「個別最適な学び」の創出に向けて、教員の意識改革が必要である。学校は素敵な学びの場である必要があり、そのためにはICTの活用は必須である。そのため、教員のICTを活用した授業実践についての研修への取組を継続して行う必要がある。 ・児童用のタブレット端末については、故障により使用できない台数も多く、全児童が一斉に使うことは難しく、学級間で調整して使っている。 ・SAが学習の支援をし、教員の補助に当たっている。しかし、配慮を要する児童への対応にあたることが多く、授業補助に当たれないこともある。 ・読書活動に力を入れている。市による「子ども100選」の他、学校独自で「プラタナスの本棚」コーナーをつくり、所謂、良書を勧めている。残念なことに高学年児童が高学年向けの本を選ぶに至っていないため、継続的な取組を行うことで、数

年後にはその成果ができることを期待している。コロナ禍においては、休み時間には学校図書館を閉館していた。今年度からは、休み時間も開館し、多くの児童が休み時間も通っている。

- ・2つ目の安心・安全については、子どもの命を守ることが校長として、学校運営の中で大きなテーマとなっている。地域の方にも交通安全等、日頃よりご協力いただき有難い。昨年度も本会で話題にあがった挨拶については、防犯への効果も望まれる。
- ・3つ目の開かれた学校については、今年度は保護者の方にも本会の皆様にも授業を見ていただく機会が少なくて申し訳ない。前校長より、針ヶ谷小コミュニティ・スクール成長プランの策定について、申し送りがあった。この地域は、既に地域として様々な取組をさせていただいているため、地域としての成長をどの様に設定をすべきか、悩みどころであった。この学校運営協議会と SSN との連携を強化させたい。
- ・全ての教員が地域との関わりを意識できると良い。低学年の生活科や中学年の社会科では、地域に関わる学習を取り組んでいるが、地域への興味・関心を子ども達によりもってもらいたい。
- ・4つ目の観点としては、教職員の資質向上である。子ども達への指導に当たるための時間で勤務時間が終わってしまい、新しい授業方法について研修をする機会をなかなか設けることができていない。
- ・一人当たりの勤務時間外労働は減少傾向にあるが、まだまだ業務量が多く、負担感や勤務時間外在校時間は教職員による偏りはある。
- ・防犯カメラの増設については、どうなっているのか。リフレッシュ工事終了後に1台増設予定である。

4 協議
 ・教育委員会への意見書について
 ・「針ヶ谷小コミュニティ・スクール成長プラン」目指す地域像について

- ・午前中の運動会では、子どもたちが力いっぱい活動する姿が見られた。子どもたちが安全に運動に親しむためにも、校庭が安全であることは必要であると改めて感じた。
- ・校庭がリフレッシュ工事の影響で凹凸が多く状況が良くない。学校はどうしているのか。
- ・令和4年度には給食室の工事に伴い、学校給食センターから給食が配送されいた。そのトラックの搬出入経路は特に荒れてしまった。そのため教職員で作業を行い、改善に努めた。
- ・学校体育施設利用団体からも校庭の凸凹について危険性を感じており、独自の予算で整備している現状がある。
- ・さいたま市学校運営協議会規則第6条に「協議会は、対象学校の運営全般（職員の採用その他の任用に関する事項を除く。）について、委員会又は校長に対して意見を述べることができる。」という記載がある。
- ・本会として市への意見書の提出をしたい。
- ・「針ヶ谷小コミュニティ・スクール成長プラン」について、校長からは柱の案としては3つ挙げさせていただいた。1つ目の読書、2つ目は防災・防犯、3つ目が清掃・緑化活動である。ここからテーマを絞り、今後の会で話を進めていきたい。

- ・自治会では、AED を独自に設置することが話題にあがっている。
 - ・学校にある農園は、除草作業の必要性を感じている。除草ボランティアの状況はどうか。
 - ・自治会にボランティアを呼びかければ協力者はいるはずだ。ボランティアをきっかけに学校への理解を深めていただくことにつながる。
 - ・学校図書館の蔵書の質が昔とは異なっていると感じている。大人向けの分厚い難しい本も置いて読書活動においても学習同様、興味・関心に応じて様々なものを選べると良い。
 - ・本に対してのプラスのイメージをもてない子であっても、学校図書館に多くの本を用意していただくと、その中でその子が読みたい本を見つけられるので有難い。
 - ・「博士ちゃん」の番組に出るような子たちは、どの様にしたら育つのかと考えることがある。個性を伸ばすという意味で、学校における教員の声掛けにより、子ども励みになり、成長する姿もある。
 - ・児童のトラブルやタブレット端末の問題など、学校が大変な状況が分かった。読書については、没入するとずっと読んでいる姿も見ると。小学生の時期に覚えたことは忘れないものも多い。
 - ・読書環境も含めた学習環境整備というのは、大切である。「針ヶ谷小コミュニティ・スクール成長プラン」では、学校の使命として学力向上を中心にに向けて取り組んでいくことが適切だと思われる。
 - ・読書活動については次回の本会でも話し合い、学校だけでなく、地域も含めた取り組みとしていきたい。
 - ・タブレットの学習についてイメージが湧かないものもある。
 - ・ベネッセのドリルパークやリクルート社のスタディサプリにより、他学年の問題にもいつでも取り組める。そのため、予習や復習を自分のペースで取り組むことができる。
 - ・一人に一台端末があることで、いつでも児童が調べたいときに検索機能により、調べることができる。複数の資料から、教科書の学習内容以上に学びを深めている児童もいる。そのため、インターネット上の情報の取扱いについては、情報の取捨選択等、日頃より指導が必要である。そのためには、教員も児童と共に日々学んでいる。
 - ・スタディサプリでは、中学校内容に取り組んでいる児童も見られる等、家庭学習で有効に活用している児童もいる。
 - ・現在、家庭科のミシンの学習について、安全かつ効果的に学習を進めるために、保護者ボランティアに協力をいただいている。こういったボランティアを地域の方にもお願いできると、より児童が地域を身近に感じることはできないのではないか。
- 5 閉会の言葉
- ・活発にご意見をいただき有難い。様々な意見に触発され、考えも深まっていく。今後もこういった形で協力していきたい。